

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

山本芳昭議員 一般質問答弁要旨

| 質問要旨 | 答弁（要旨を箇条書きしてください） |
|---|--|
| <p>1. 災害・防災について</p> <p>①災害復旧工事はいつから、誰が、どのように実施されるのか。</p> <p>②水路改修はどのような方法でされるのか。</p> <p>③新石見小水力発電所再稼働の見込みはどうか。</p> <p>④町と自衛消防はどのように連携されているのか。</p> | <p>1.</p> <p>①二次災害を防ぐ応急工事を2月に完了。今後は町が事業主体となって単県補助事業により、測量・調査・設計を行い、予算確保しながら災害復旧工事を実施したい。</p> <p>②水路の測量調査及び機能診断調査等を行い、水路改修の方向性を定め、水路の改修工事に着手する。</p> <p>③小水力発電所を所管する経産局への事故報告において、ヘッドタンク（上水槽）についても精査するようにとの指導があった。専門家、有識者の意見を踏まえ、復旧工事に着手することになる。</p> <p>④自衛消防は自治会長の指示によって出動を行うことになっている。町は各まち協防災担当部署とも連携を取っている。</p> |
| <p>2. 町道改良工事について</p> <p>①野田塚原線の工期は何故延長されたのか。</p> <p>②霞福塚線の今後の工事予定はどうか。</p> | <p>2.</p> <p>①新石見小水力発電所関連工事が平成27年11月となったことにより、町道改良工事の年内完成が困難となった。</p> <p>②無坂川の護岸付替、道路横断函渠、道路改良、舗装工事の順で交付金予算を確保しながら進める。</p> |
| <p>3. 地籍調査について</p> <p>①調査着手から終了まで何年かかるのか。</p> <p>②町全体の現在の進捗状況について、また調査終了予定年度はいつごろになるのか。</p> | <p>3.</p> <p>①調査地区1ブロックの調査着手から終了までは、5年を目安に実施している。</p> <p>②平成27年度末の進捗見込みは、調査済み面積77.53km²、進捗率24.56%。調査終了は2040</p> |

③境界の確定だけでも先行できないか。

年代から2050年代となる見込み。

③測量して登記まで行わないと地籍調査完了とならないが、土地所有者による境界の保存は非常に重要となっている。

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

近藤仁志議員 一般質問答弁要旨

| 質 問 要 旨 | 答 弁 （要旨を箇条書きしてください） |
|--|---|
| <p>1. 日南町の集落と、その生活を守り続けるための方向性と課題について</p> <p>中心地域整備が目に見える形で着実に進行しているなか、町内の集落を守り、住民の生活不安解消に大きく貢献しているのが、まちづくり協議会と農業生産法人をはじめとする集落営農組織と考える。</p> <p>①まち（むら）づくり協議会に期待する活動は。</p> <p>②役場各課から委員の選考、調査等依頼されるが中身を精査し担当課に一元化できないか。</p> <p>③鳥取県と日本財団による「日南町の中心地内の公共交通、これと地域を結ぶ公共交通」について、その内容と日南町の関わり方は。</p> <p>④町内の農業生産法人は何団体あるか、その中で常雇用されている団体は。</p> <p>⑤イノベーションを職員に求めておられるし、「総合戦略」をはじめいろいろなプランを打ち出してあるが、「補助金申請で世話になるが現場に姿がない。」知る事、感じる事、学ぶ事、考える事がイノベーションには重要と考えるが。</p> <p>⑥農協、普及所と一緒に現場に出向き、日南町農政の問題を共有することが求められているが。</p> <p>2. 道の駅オープンに向け加工品の進捗状況と、その後の対応について</p> | <p>1.</p> <p>①町として、まち（むら）づくり協議会に期待することは、住民参画のまちづくりへの理解と協働の意識である。</p> <p>②現在も協議会への依頼事項は企画課を通じて行うルールとしており、今後とも窓口として精査と調整を行っていく。</p> <p>③具体的な支援内容は今後の提案・協議となるが、関係団体と連携して支援について提案していく。</p> <p>④農業生産法人は15団体、常時雇用者のいる法人は9団体である。</p> <p>⑤住民の中に入り、住民の意見を聞きそれを政策に反映させるという姿勢を職員に望み、改革していく。</p> <p>⑥「農家の庭先に農政を」を肝に据え、農協、普及所と連携して進める。</p> <p>2.</p> |

| | |
|---|--|
| <p>①試食会出品者は個人、団体何名か。</p> <p>②オープン後、道の駅以外での販売の道筋は考えているか。</p> | <p>①出品者は、延べ2回で個人が13人、団体が9団体である。</p> <p>②流通に詳しい事業者とタイアップして新たな販売方法に取り組む。</p> |
|---|--|

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

大西 保議員 一般質問答弁要旨

| 質 問 要 旨 | 答 弁 （要旨を箇条書きしてください） |
|---|--|
| <p>1. 町長の施政方針について</p> <p>①町民の健康増進や生きがいづくり推進を目的として、「ナイター施設や体育施設の無料化」を決断されました。施設利用者に喜ばれる事と思います。そこで、今後ナイター照明の改修を平成30年度に計画をされているが、改修後も無料化を継続されるのかを伺う。</p> <p>②高齢者が活躍するまちづくりを目指し、「老人クラブ活動補助金制度の簡素化と拡充」を図り、高齢者の活動や交流の機会を増やすとなっていますが、制度の簡素化と拡充の具体的な内容を伺う。</p> <p>2. 環境対応について</p> <p>①鳥取大学と日南町との連携事業の一環で、日野川源流域における水質・生態系調査が、2014年7月～2015年9月の15ヶ月間15回行われ、その報告会が先日開催されました。その得られたデータを基に、町として今後どのように対応、対策を講じようとするのかを伺う。</p> <p>②以前より、役場で保管されていたPCBは、すべて廃棄処分されたのかを伺う。</p> | <p>1.</p> <p>①体育施設の無料化については、施設の改修、改築の計画を含めて検討していく。</p> <p>②補助金申請の簡素化を図るために、申請は専用様式でなく事業計画書と総会資料を添付することで代用できるようにした。町補助金の算定方法は事業費と会員数によるが、会員一人当たりの算定額を300円から600円に増額した。財源として県補助金を申請するため、県補助金の対象外となる食糧費・入場料について別途計上欄を設けたので、ご協力をお願いしたい。</p> <p>2.</p> <p>①調査結果は、河川水の窒素過多によって下流域の農業被害が発生していたことの裏付け資料のひとつとなるもの。一方で、2年間の調査で解明できなかったこともあり、調査研究の継続を依頼した。</p> <p>②昨年12月に分析を終え、2月に専門業者と運搬と処分に関する契約を締結、年度内には環境省が認定した無害化処理施設において、すべて焼却処分となる予定。</p> |

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

久代安敏議員 一般質問答弁要旨

| 質 問 要 旨 | 答 弁 （要旨を箇条書きしてください） |
|--|--|
| <p>1. 「安全保障関連法案」（戦争立法）と日本国憲法について</p> <p>①安倍政権が昨年9月19日に「安全保障関連法」を強行採決してから半年を迎え、3月末には法律が施行されようとしているなかで開会中の国会には、この法案に反対した野党5党で「廃止法案」を提出しているが、あらためて見解を問う。</p> <p>②自民党は憲法改正に強い姿勢で臨んでいるが、その改憲草案をどうとらえているか。</p> <p>2. TPPと「地方創生」について</p> <p>①TPP参加12か国で2月4日に調印式が行われたが、批准の是非を問う国会審議はまだ始まっておらず、やっと翻訳された全文が明らかになった。国・県は影響試算を発表しているが、日南町の試算を明らかに。</p> <p>②TPP協定の中身は、日南町の農業・林業だけでなく医療や保険、食の安全などどの点でも大打撃となることは火を見るより明らかであり、「地方創生」の努力も吹き飛ばす大矛盾だと考えるが、あらためて見解を問う。</p> <p>3. 「同一労働同一賃金」について</p> <p>どの調査を見ても官民間問わず、非正規労働者が4割となり、その賃金格差も拡大しているのが実態である。町内の労働実態調査をどのように実施しているか。また、その結果の分析をあきらかに。</p> | <p>1.</p> <p>①憲法論議を行わず周辺法での安全保障は遺憾である。</p> <p>②自衛権を認めている点等は評価できるが、他の点では問題も多い。</p> <p>2.</p> <p>①国県の影響試算から、本町主要農産物の米、野菜は影響なし。ただし、畜産については輸入状況によっては注意が必要。</p> <p>②協定内容は更に注視し、農林産業を核として働き場、移住定住の促進など本町創生を目指す。</p> <p>3.</p> <p>「職務給」を採用すれば可能になるが、現在の日本での主流である「職能給」、「年齢給」であれば、現在は難しい。また、全体的に日本の賃金が高いと言っている評論家が叫ばれているのも、全体の賃金を下げる結果となりはしないか危惧する。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>4. 子育て支援について</p> <p>保育料の全児童無償化など子育て支援策の拡充を歓迎するが、小中学生の学校給食費を無償にすることを提案する。</p> | <p>4.</p> <p>保育料の無償化などは幼児教育の中で憲法第26条にも沿うと考えるが、衣食住については民法第818条の養育権、親権に属する義務と考えているため、無償化は考えていない。</p> |
|---|--|

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

古都勝人議員 一般質問答弁要旨

| 質 問 要 旨 | 答 弁 （要旨を箇条書きしてください） |
|---|---|
| <p>1. 人材の確保について</p> <p>①町内の事業所や会社では、人手不足が慢性化しているが、どのように捉えているか伺う。またその対応策について伺う。</p> <p>②また、町民に一番関わりのある、役場、病院、保健センター、日南福祉会関係においても、人手不足と聞く、その具体的状況について伺う。また、その対応策について伺う。</p> <p>③人材確保が困難となる現状では、人材養成または育成の時期となったと思うが所見を伺う。</p> | <p>1.</p> <p>①あらゆる業種において労働者不足が顕在化していると認識している。基本的には各企業独自の方策による解消を図りながら、行政は移住定住推進の取り組みに企業に関わっていただく仕組みなどを検討していく。</p> <p>②いずれの事業所においても、現在、また将来的な人材の確保に課題があると考えており、それぞれの課題に即した対策を検討している。</p> <p>③人材の養成についても各企業独自の取り組みが必要であるが、町としても定住対策の視野も含めた資格職などの確保施策を検討していく必要がある。</p> |
| <p>2. 再生可能エネルギーについて(木質について)</p> <p>①太陽光発電、小水力発電、オフセットクレジットなど積極的に低炭素化にむけた取り組みがなされているが、家庭で取り組める、薪ストーブ、薪ボイラー、サンヒーターの設置にかかる補助の状況を伺う。</p> <p>②カーボンニュートラル事業は現在どの様になっているか伺う。</p> <p>③CNF(セルロースナノファイバー)研究でアジアで始めて日本人3名が「森のノーベル</p> | <p>2.</p> <p>①制度導入以降、薪ストーブ・薪ボイラー購入者への助成は25件で1,141千円、太陽熱温水器への助成は20件で985千円。</p> <p>②カーボンニュートラル事業は、国のふるさと雇用事業により平成21～23年度の3年間実施。この間の年間平均販売量は16,902kg/年で、平均販売額は647千円/年。平成27年度の販売見込みは18,390kg/年で、販売額は945千円。</p> <p>③この素材は、使用する素材が樹種を問わないものである。本町広葉樹の活用が期待でき</p> |

賞」とも言われる大賞を受賞された。山林資源の豊富な日南町にとって、ビッグチャンスと思うが所見を伺う。

る。今後の動向を注視していく。

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

足羽 覚議員 一般質問答弁要旨

| 質 問 要 旨 | 答 弁 （要旨を箇条書きしてください） |
|--|--|
| <p>1. あかねの郷の火災誤報について</p> <p>①先般、あかねの郷の火災報が流れたが、誤報が発生した原因を問う。</p> <p>②火災報知機の作動後の対応（避難誘導等）はどの様になっているか。</p> <p>2. 日南産米のブランド化について</p> <p>①日南産米のブランド化を推進するにあたり、地域の農業法人が率先して色彩選別機や食味計の導入することにより、日南町の良質な米を販売出来るのではないかと。また、米づくりに、こだわりを持つ小規模農家も、この機械等を低料金を活用できれば、日南産米のブランド化の推進がより図れると思うがどうか。</p> <p>②町内で、資格を持った米の検査員を増やす計画はないか。</p> <p>3. 蕎麦の6次産業化について</p> <p>日南町の蕎麦生産は、100haの面積が有りながら、加工・販売する業者が少なく、二次産業が乏しい。そこで、出雲とさほど変わらない栽培面積がある本町で、本格的な蕎麦の生産を行い、出雲そばに匹敵する蕎麦処として、6次産業化が図れないかと考えるがどうか。</p> | <p>1.</p> <p>①原因は施設内火災報知器のボタンを入居者が誤って押されたことによるもの。消防法改正により自動通報装置を設置しており、消防局に直接通報が入る仕組みとなっている。今回、誤報であることの連絡までに時間を要したことが反省点。</p> <p>②施設職員が避難計画にそって対応することとなっており、年2回の訓練が行われている。周囲からの避難支援の受入手順等について検討を進めている。</p> <p>2.</p> <p>①色彩選別機については、すでに農業法人や大型農家で導入が進んでいる。食味計は道の駅直売所に導入予定。一般農家にも是非活用していただきたい。</p> <p>②当面はJA検査員体制で実施する。</p> <p>3.</p> <p>気象条件に影響を受け、収穫量が不安定、土地条件の改善に取り組み、品質、収量向上を目指す。</p> <p>6次産業化へ向け、町内需要の掘り起こしに努める。</p> |

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

荒木 博議員 一般質問答弁要旨

| 質 問 要 旨 | 答 弁 （要旨を箇条書きしてください） |
|---|--|
| <p>1. 中心地域整備について</p> <p>①大田原地区の商業ゾーンが完成に近づいているが、住宅ゾーンの整備はいつから開始するのか。</p> <p>②住宅ゾーンの中にサービス付き高齢者住宅と子育て世帯住宅の予定があるが、どのような運営形態をとるのか。</p> <p>③生山駅付近の住宅分譲地の募集は少しでも早いほうが良いと思うが、いつから開始するのか。</p> <p>④分譲地に建築する建物に対する助成金について問う。</p> | <p>1.</p> <p>①28年度には民間資本による世帯向け賃貸住宅の整備を計画している。</p> <p>②まだ福祉全体計画の中で検討の余地もあるが、サービス付き高齢者住宅は、民間資本による整備・運営も視野に入れて検討をする。世帯用住宅については、全体計画の中で協議して、利子助成等について今後補正予算での対応させていただきたい。</p> <p>③年内には造成工事を完了し、造成完成までも早期に募集を開始したい。</p> <p>④定住者の家族構成に応じた建築資金助成制度を検討している。</p> |